

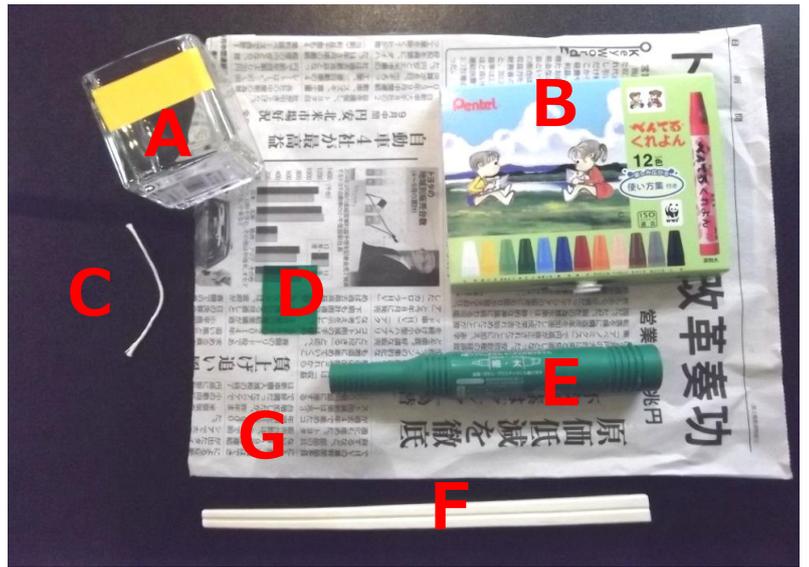
◆エコキャンドル◆



廃油を使ったキャンドル液で、好きな色のキャンドルを作ろう

材料

- A ガラスキューブ
- B クレヨン
- C たこ糸
- D プラ板
- E 油性ペン
- F わりばし
- G 新聞紙



作り方

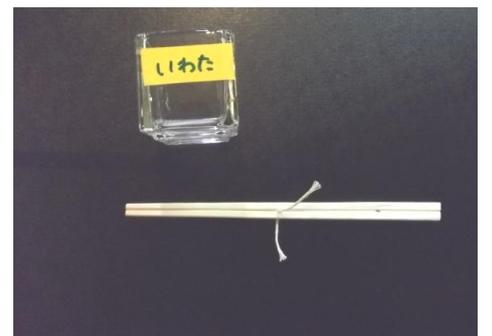
①名前を書く

ガラスキューブに貼られたテープの上に油性ペンで名前を書いてください。



②タコ糸をセットする

このタコ糸がキャンドルの芯になります。
わりばしを割らないように、中心にタコ糸をはさみます。



③クレヨンを細かく削る

好きな色を1色選びます。2色は色がうまく混ざりません！
新聞紙を敷き、プラ板を使ってクレヨンを細かく削ります。

ここでより細かくするのがポイントです！

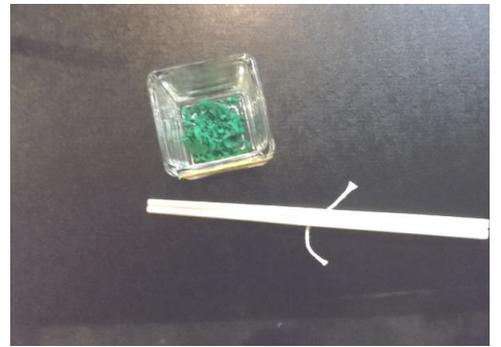
削ったクレヨンはガラスキューブに入れて下さい。



④キャンドル液を注ぐ

キャンドル液は熱くなっているので、**スタッフ**が注ぎます！

②で作ったわりばし+タコ糸と一緒に、ガラスキューブをスタッフに渡して下さい。



⑤よく混ぜる

わりばしでクレヨンが解けるようによく混ぜます。

液がはねないように、ゆっくり混ぜて下さい。

※やけどに注意

⑥タコ糸をセットする

タコ糸がキャンドルの中央にくるように、わりばしを置きます。

このままキャンドルが固まるまでそっと置いておきます。



⑦キャンドルが固まったらわりばしを外し、完成です★



体験学習 ★ **組みひも作り** ★

プレジャーフォレスト周辺地域（津久井）の名産、「組みひも」を編んで携帯ストラップを作ってみよう！

＜使うもの＞	組みひも 1m 各色（1人2本）	はさみ
	ビーズ（1人2個）	がびょう or セロハンテープ
	ストラップ（1人1本）	



＜手順① 携帯ストラップに組みひも（1本）を結ぶ。＞



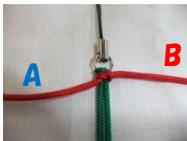
この時結ぶ組みひもは、もう1本を編むための“芯”になるので、色は表に出ません。

↓ストラップに組みひもが結べたら、自分の前にまっすぐに固定する。



ストラップの上の部分を、画びょうで机に固定します。（体験の場所によってはセロハンテープを使うこともあります）もう1本のひもを編みやすいように固定しましょう。

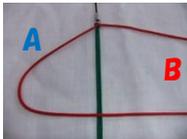
＜手順② もう1本の組みひもを使って編んでいく。（ねじれ平結び）＞



1) 編んでいく方の組みひもを、芯になる組みひもの下を通す。

※写真は、1階編んだあとの状態

左右は、大体同じ長さになるようにしておくといよい。

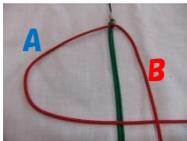


2) 左側（A）のひもから、数字の「4」を描くようにひもをおく。

※写真は、1画目

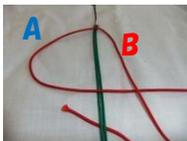


数字の「4」



大事なポイント・・・右側（B）のひもが上になっていること！

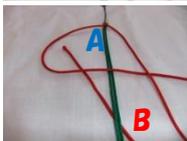
書き順どおりに置けばOK d(^ ^)



3) Bのひもを、Aでつくった輪の中へ通す。

ポイント・・・Aのひもと、芯になっているひもの下から通す！

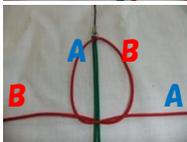
全部のひもの、1番下を通す、と思うといいよ d(^ ^)



4) AとBの両端をを持って、結び目ができるまでひっぱる。

少しつよめに結んでOK！ 結び目は、芯の上までつめてあげよう。

・・・→1)の写真のようになるはず。



<手順③ 表ページの1)～4)を繰り返す。>



繰り返し編みこんでいくことによって、結び目がらせん状になっていきます。

<手順④ ビーズを通す。>



- 1) ビーズの穴に、ストラップのひもの部分を通す。
- 2) “芯” になっている方の組ひも（写真では緑色）のはじを10cmほど、ストラップのひもの中に通す。
- 3) ビーズをストラップのひもから抜き取る
この時、2)の組ひもが一緒についてくるが、そのままビーズを抜きとる。

・・・\(^▽^)/

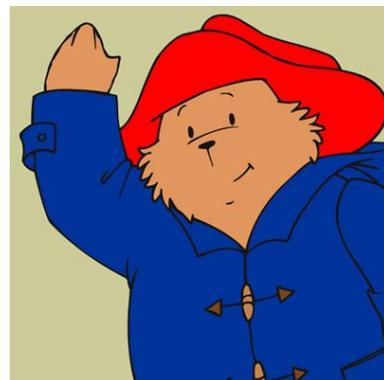
- 4) ビーズを通したあとも、同じように組ひもを編んでいく。
1回目は、組ひもがビーズからはずれない程度に結ぶとGood!

<手順⑤ 好みの長さまで編めたら仕上げをする>



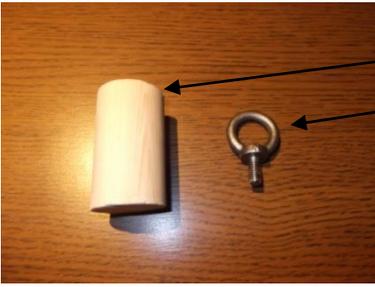
- すべての組ひもをまとめて、1回結ぶ。
編んだところがほどけないように、最後の結び目のところで結ぶ。
※1回結べる長さを残しておいてね!

組ひものはじをハサミで切って、先の方を手でほぐしたら、**完成!**



バードコール作成マニュアル

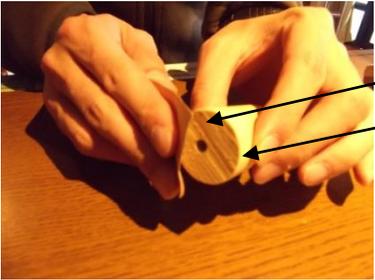
1. 使用する材料



- ・ バードコール本体 木製
- ・ アイボルト 金属製
- ・ ストラップひも

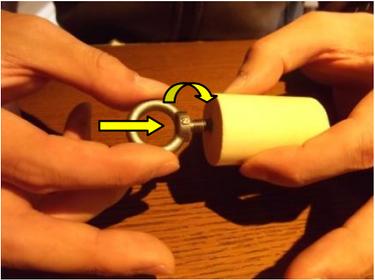
※ 道具 紙やすり、カラーペン

2. 表面のデコボコを紙やすりできれいにします。



- ・ 切り口のデコボコを平らにしてください
- ・ 切り口の角は少し丸くなるようにしましょう

3. アイボルトを本体の穴にねじ込みます。



- ・ ねじの部分本体の穴に合わせて真っ直ぐに入れて下さい
- ・ アイボルトを押しながら回すと少しずつ入っていきます

4. 本体に自由に絵を描いて下さい。



5. アイボルトに好きな色のストラップひもを付けて完成です。

6. 本体を持ってアイボルトを左右にひねると鳥の鳴き声が出ます、ひねり方によって色々な鳴き声が出ますから試して下さい。

バードコール (Birdcall) とは

昔ヨーロッパでは、狩猟のための鳥寄せとしてバードコールが使われてきたようです。木と金属をこすり合わせて小鳥の鳴き声に似た音を出す打楽器です。軸を回しながら微妙にすり合わせる力を加減すると、美しい小鳥のさえずりに聞こえてきます。回転の速さや圧力を変えることにより実に多彩な鳴き声が出せます。

小鳥という生き物は小さな体と愛らしい姿とは違って、とても気が強い生き物です。野山で聞かれるあの美しいさえずりは、実は小鳥にとっては異性へのアピールや侵入者への牽制だったりします。

自分の縄張りに得体の知れないよそ者が侵入して来たとなると、必死で縄張りを主張しながら近づいて来ます。そこで必要以上に鳴らし続けると、寄って来るところか逆に逃げてしまいます。

実際の野山では、必要最小限にそっと鳴らして様子を見ながら小鳥を観察するのが良いと思います。

相模湖周辺にいる冬の野鳥



アカゲラ



カワラヒラ



コゲラ



シジュウカラ



トビ



ノスリ



ホオジロ



セグロセキレイ



ハクセキレイ



ジョウビタキ (メス)



ジョウビタキ (オス)



メジロ

他にも色々な野鳥がいます、みんなで探してみてください。